

平成 27 年度 高大連携連絡協議会 記録

日時：平成 28 年 3 月 14 日（月）15 時 30 分～16 時 40 分

場所：湘北短期大学 721 教室

出席：湘北短期大学 12 名

宮下 岩崎 小棹 小森 伊藤 小泉 佐藤（知） 高木 高嶋
谷口 北野 高橋

連携高校 14 校 14 名 （ ）内は高校名

橋元(相原) 靱山(厚木北) 大江(厚木商業) 金沢(厚木清南)
内藤(厚木西) 福住(厚木東) 菊池(綾瀬) 中川(有馬) 相田(伊志田)
小宮(小田原総合ビジネス) 竹村(茅ヶ崎) 杉山(二宮) 小川(平塚湘風)
加藤(舞岡)

(計 26 名 敬称略)

欠席校：愛川 足柄 伊勢原 海老名 川崎総合科学 座間 瀬谷 中央農業 高浜 秦野総合
藤沢清流 町田工業 山北

1. 平成 26 年度 事業報告

- 1) 出張授業/その他 【資料④】に基づき説明を行った。
- 2) コミュニケーションリテラシー実施報告 【資料⑤】に基づき説明を行った。

2. 平成 27 年度 事業計画 【資料⑥】に基づき説明を行った。

3. 意見交換

事業計画等にはご異論なく、参加高校の各先生方から高大連携事業、コミュニケーションリテラシーやアクティブラーニングなどについてのご意見をいただいた。主なご意見を以下に示す。

- ・就職する生徒には、高校卒業時に社会人基礎力を身につけさせなければならない。
- ・高校でもアクティブラーニング型のグループでディスカッションする授業などを取り入れている。
- ・2月のコミュニケーションリテラシーの実施は望ましい。
- ・コミュニケーションリテラシーについて、生徒から積極的に受講申し出をしてきた。
- ・コミュニケーションリテラシーの1日目の午後の授業を見学して、コミュニケーションの本質について、本来は高校で伝えておかなければならないと感じた。
- ・進路情報として、高校の卒業生の状況を伝えてもらえると進路指導に役立てることができる。
- ・10月に指定校推薦等で他大学に進学が確定する生徒に対しても、何らか事前授業を実施することを高校としても考えたい。
- ・アクティブラーニングを普段の授業で展開していくことの難しさを感じている。
- ・課題設定そのものがない生徒が多くいると感じている。
- ・教育研究会に参加して、直面していることがらの参考となった。

また、次のような問題提起、提案があった。

- ・グループワークの問題設定について、シチズンシップに則るテーマ設定をしてみてはどうか？
- ・出張授業において、学生がグループリーダーに入るような形での実施ができないか？

【資料⑦】のアンケート用紙にご意見等を記載いただき 3月 25日（金）までにFAXにて送信をお願いして、意見交換の時間を終えた。

以上